

—大名行列のお殿様の大役、いかがでしたでしょうか。

非常に良い思い出となりました。殿様役は、望んでできるものではないので、できてよかったと思います。—当日はかなり暑かったので、大変ではなかったですか？

暑さには慣れてますので、平気でした。お姫様役の方はちよつと具合が悪くなったりしたみたいですけど。

—殿様役は、都留市の消防団長などが持ち回りやるんでしょうか。

2年に1回は、消防団長が扮することになっていきます。これは、協力団体ということで実行委員の方で決定しているようです。本当に今回はこの役ができて、良い思い出になりました。実行委員長の心づかいに感謝したいと思います。

—乗馬についてはいかがでしたか。

小さい頃には、みんな馬で田んぼを作ったりしましたから、全然大丈夫でした。馬上から見える景色はよかったのですが、恥ずかしくて(笑)。

—殿様役の反響も大きかったのではないですか。

実は、殿様役になることは、あまりまわりの人たちには言わなかったんです。だから気づいていない人たちもいるんじゃないでしょうか(笑)。

—八朔祭へは以前から参加されていたんですか？

毎年、消防の分団などで協力し、参加をしていました。やはり、



佐藤勝吉さん

(さとう・かつよし)

昭和26年3月、
鹿留生まれ。
サトウ工建社長。
現・都留市消防団団長。

都留市を代表する祭なので、いろんな団体の参加は必要だと思います。

—殿様の衣装の着付けなどは、大変ではありませんでしたか？

殿様の着付けは一番最後だったので、待っている時間の方が長かったかな(笑)。しかし、衣装は腹周りがきつい。よく結婚式などで女性は着物を着ますが、飲んだり食べたりできないのが良く分かりました(笑)。

—化粧はいかがでしたか？

化粧にはそんなに時間はかかりませんでした。でも、支度を終えてから、孫と記念写真を撮りたいのに、孫が私だと気付かなくて困りましたね(笑)。

—貴重なお話を伺いさせていただき、ありがとうございました。

「大名行列」お殿様・お姫様、独占インタビュー！

—谷さんは、茉莉香と書いて「まつりか」と読むんですね。

はい。これは、父と母の出会いのきっかけになった本の主人公の名前なんだそうです。

—なるほど。お姫様候補に応募したきっかけはなんでしょう。

私自身、お祭りが好きで、実は大1年の時から八朔祭には行っていました。今は4年なんですけど、2年生の時は仲町の屋台を曳かせてもらいました。その時に見たお姫様がきれいで、「いいなあ」と思いまして。思い出づくりに応募しました。今回は、とても良い記念になりました。

—仲町の屋台曳行はどういう関係で？

当時、留学生の補助をしていました。留学生が参加するのに合わせて私も加わりました。

—もう4年近く都留に住んでいらっしやるんですね。

はい。非常に父も母も都留市を気に入ってまして、「このまま都留に住んじゃえば？」なんて言われます



谷 茉莉香さん

(たに・まつりか)

平成元年3月、岡山県岡山市生まれ。
都留文科大学社会学科4年。
愛称は、ジャスミン。

(笑)。

—そうですか。都留市を気に入っていたんですね。

—お姫様役はいかがでしたか？

大変楽しかったです。握手や記念撮影なんかを頼まれて、戦隊ヒーローみたいな(笑)。

—暑さはいかがでしたか？

暑さはあまり感じませんでした。ただ、腰のまわりなどにポリウムを出す詰め物をするんですが、歩いているうちに着付けがずれてしまったのか、最後にはかなり腰が痛くなっていました。グラウンドに入ってから、ちよつと気分的にも悪くなっていました。熱中症だったかも知れませんね。

—では、その後はすぐに帰宅を？

いえ、終わったあとは気分も良くなり、友達や母と夜店を10時頃まで回りました(笑)。非常に楽しかったです。

—夜店で、お姫様だと気付いた人もいましたか？

はい。途中で、「お姫様だー！」と言われました。やっぱり大名行列の効果はすごいなあ(笑)。

—貴重なお話を伺いさせていただき、ありがとうございました。